



平成 23 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ユニハアー
 代表者名 代表取締役社長 大槻 忠男
 (コード番号 8170)
 問合せ先 広報 I R 室次長 高橋 道義
 (T E L . 03 - 3350 - 3268)

特別損失の計上、繰延税金資産の取崩しおよび業績予想の修正に関するお知らせ

この度、下記のとおり特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しを行うことになりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 22 年 10 月 14 日付けで公表した平成 23 年 2 月期（平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日）の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

平成 23 年 2 月期に発生見込みの特別損失の主な内容は以下のとおりです。

減損損失 50 億 67 百万円

主に営業店舗のうち収益性が低下した店舗について減損損失を計上いたしました。

2. 繰延税金資産の取崩しの発生及びその内容

繰延税金資産の取崩し 59 億 37 百万円

タックス・プランニングに基づき、繰越欠損金の回収可能性を判断した結果、繰延税金資産を取崩す事となりました。

3. 業績予想の修正

(1) 平成 23 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	52,300	△3,900	△4,000	△4,900	△133 円 12 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	47,800	△6,800	△6,900	△19,800	△537 円 92 銭
増 減 額 (B - A)	△4,500	△2,900	△2,900	△14,900	—
増 減 率 (%)	△8.6	—	—	—	—
前期実績(平成 22 年 2 月期)	57,355	△5,264	△5,351	△9,851	△261 円 98 銭

(2) 修正の理由

(売上高)

売上高につきましては、国内の女性売上が引き続きフォンテーヌクチュール店(*)化の遅れなどにより前回予想比で 45 億円減少し 478 億円の売上高となる見込みです。

(営業利益)

営業利益につきましては、全社的なコスト削減により販管費抑制をおこなっておりますが、売上高の減少をカバーするまでにはいたらず、前回予想比で 29 億円減少し 68 億円の営業損失となる見込みです。

(当期純利益)

当期純利益につきましては、特別損失として減損損失の計上や繰延税金資産の取崩しなどにより、前回予想比で 149 億円減少し 198 億円の当期純損失となる見込みです。

(*)フォンテーヌクチュール店とは、女性用オーダーメイドウィッグからレディーメイドウィッグまで一貫して扱う女性向け店舗を言います。

(注)上記の予想は現時点において入手可能な数値に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上